

令和7年度 事業所における自己評価総括表（ドットジュニア 蘇我第1教室（放課後等デイサービス・児童発達支援））

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、さらに強化・充実を図るべき点（事業所の強み）や、課題や改善すべき点を整理・分析しています。この自己評価総括表をもとに、業務・サービスの資質向上や改善をしていくことを目的としています。

<保護者アンケート調査時期：R7/11/17~R7/12/5> <職員アンケート調査及び検討時期：R7/11/17~R7/11/25>

強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
<p>児童が『楽しい』『また来たい』と思えるようなプログラムを多数取り入れており、継続的な利用意欲につながっている。</p> <p>クッキングや外出プログラム、実験など家庭では体験しづらい活動を積極的に行うことで、児童の興味関心を引き出し、主体的に活動へ参加できる環境づくりができています。</p>	<p>児童の興味や意欲を高めるため、おでかけやクッキングなど児童の人気の高いプログラムを意識的に多く取り入れている。また、毎年夏祭りを開催し保護者や他教室の児童を招いて催し物を行うことで、事業所の雰囲気を知ってもらうとともに、児童の社会性や交流の機会を広げている。</p> <p>さらに、他教室の児童との関りを大切にし、合同遠足を実施するなど、普段とは異なる集団の中で経験を積めるよう工夫している。</p>	<p>今後は、保護者参観の場を定期的に設けることで、児童の普段の様子や支援の意図をより分かりやすく伝え、保護者との関係を深めていきたい。</p>
<p>教室全体が明るく、職員間のコミュニケーションが取りやすい雰囲気が形成されている。そのため、児童の様子や小さな変化についても日常的に共有しやすく、支援に生かすことができている。また、立場に関わらず誰でも意見を発信しやすい環境が整っており、クルー一人ひとりが安心して働くことのできる教室作りに繋がっている。</p>	<p>児童がいない時間帯には、職員同士で児童の様子や支援について話し合う時間を意識的に設けている。日常的な会話の中で情報共有を行うことで、自然と職員同士が話しやすい環境づくりに繋がっている。また、クルーと定期的に面談を行い、気持ちの変化や仕事へのモチベーションを把握することを大切にしている。</p>	<p>今後は日常的な情報共有に加え、記録やミーティングを通して支援内容や児童の変化をより客観的に振り返る機会を増やしていく。職員一人ひとりの得意分野や課題を踏まえた役割分担や研修の機会を充実させることで、支援の質の向上とはたらき環境づくりの両立を図っていきたい。</p>
<p>未就学児から高校生まで、幅広い年齢の児童が在籍しており、異年齢の児童同士が触れ合う機会を多く持てている。</p> <p>学校や家庭では経験しにくい異年齢交流を通して、思いやりや社会性を育む体験ができる環境となっている。</p>	<p>異年齢の児童同士でペア活動やグループワークを行う機会を意識的に増やし、年齢の違いを生かした関わりが生まれるよう工夫している。</p> <p>活動を通して、年下の児童は年上の児童を見て学び、年上の児童は相手に合わせた関わり方を考えるなど、相互に学びを得られる機会となっている。</p>	<p>今後は、児童同士の相性や特性をていねいに把握しながら求められる関わり方を設定していく。未就学児は年上の行動を見て学び、年上の児童は年下の児童の手本やサポート役となれるような関係作りを進めていきたい。また、発達段階に応じて児童間の関係の築き方を意識することで、異年齢の交流を効果をさらに高めていく。</p>

弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	拠点として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
<p>・災害、緊急時の取り組みについて。保護者が安心できるような説明、訓練等が行われていない</p>	<p>事業所の近くに用水路があり、津波警報があった際に保護者への連絡が出来ていなかった。 児童の安全の確保や事業所のやりとりのみおこなってしまい、緊急時の保護者への共有方法が明文化されていなかったため。</p>	<p>災害時の保護者対応方法について、児童の安否確認、送迎方法の変更など、教室の状況を踏まえた上で職員間で共有していく必要がある。</p>
<p>・個別支援計画に沿った支援が十分に行えていない。</p>	<p>モニタリング時や個別支援計画作成時、他の関係機関との会議後の職員間の情報共有不足と認識の不一致がある。</p>	<p>個別支援計画の質の向上、児童発達支援管理責任者研修の研修内容を職員間で行っていく。</p>
<p>・家族等からの子育ての悩み等に対する相談の時間を設けられていない、面談や必要な助言と支援を行えていない。</p>	<p>保護者面談の機会が少なく家族支援として、必要な助言を行えていない。 モニタリング以外での保護者との児童の様子の共有の場が少なく、保護者の意見を聞く機会が十分ではないため。</p>	<p>定期的な保護者面談の提案を行っていく。</p>